

# つながる健康・ひろがる共生

## —すこやかな多文化共生の地域づくり事業—

大分県立看護科学大学

看護学部2年次生

阿部なるみ, 佐藤いずみ, 渡邊さくら

国際看護学研究室

学内講師

篠原彩

教授

桑野紀子

### 背景

豊後大野市は、

- ・高齢化率が45.8% 2025年5月末時点
- ・自治会のうち、半数以上が高齢化率50%を超え、中には80%を超える自治会もあり、地域の担い手不足が深刻
- ・地域産業や社会活動を支える存在として、外国人労働者への期待が高まっている

豊後大野市の在留外国人は、

- ・人口の約1%程度だが、近年増加傾向
- ・外国人労働者は、保健医療・生活支援など公的サービスにアクセスしづらい
- ・地域では見えにくい存在で、交流機会が少なく、孤独や健康不安を抱えやすい

### 目的

外国人労働者および地域住民を対象とした健康チェックや健康教室を実施し、共に健康づくりを行う機会を提供する。

#### つながる健康・ひろがる共生

#### —すこやかな多文化共生の地域づくり事業—

- 外国人労働者が地域の一員として健康に安心して暮らせる環境づくりを推進
- 地域住民との相互理解と多文化共生の促進

### 実施体制

豊後大野市 市民団体グローバルおおの 代表者 森美由紀 様  
 多文化共生イベント「カルパレ」の場を活用させていただいた  
 大分県立看護科学大学  
 ・国際看護学概論を履修した学生有志 10名  
 ・国際看護学研究室 学内講師 篠原彩 教授 桑野紀子

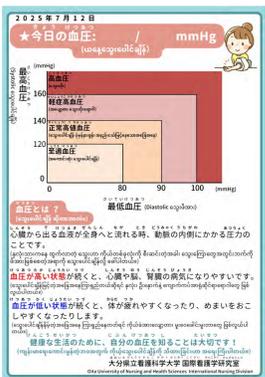
### 実施内容

#### 外国人労働者と地域住民との交流会 7月

- 参加学生 5名 (2年2名, 3年3名)
- ・イベントのお手伝い
- ・健康チェック (血圧測定)
- ・熱中症に関する多言語パンフレット配布



厚生労働省, <https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



多言語で資料を作成



#### イスラム教文化に関する講和 9月

- 参加学生 2名 (2年)
- ・イベントのお手伝い
- ・地域住民とともに講和の聴講



宗教を含む文化を知ることは、互いに暮らしやすい環境づくりにつながる

### 実施内容

#### 女性外国人労働者の皆さんへの健康教室 10月

参加学生 5名 (2年3名, 4年2名)

- ・健康教室「看護学生と性と健康について話しましょう」の実施



- 日本語とともに多言語で資料を作成
- 漢字にはふりがな
- 月経の仕組みや月経周期、性感染症について説明



- ・やさしい日本語を用いて説明
- ・説明箇所を示し、翻訳資料で確認できるように工夫
- ・資料を一緒に確認し、情報を共有



就労生活や健康を害した時期もあったこと等、様々なお話を聞くことができた



#### 外国人労働者と地域住民との交流会 11月

- 参加学生 3名 (2年)
- ・イベントのお手伝い
- ・健康チェック (血圧測定)
- ・インフルエンザに関する資料の配布

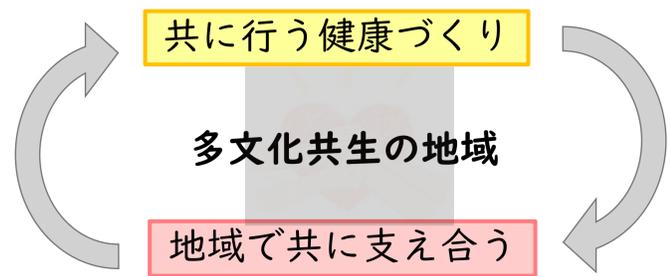


文化の共有機会は、心の安寧にもつながる



### 事業成果

- ◆ イベントを活用した健康情報の発信
  - ◆ 健康チェックの実施による健康意識の喚起
  - ◆ 地域に暮らす女性外国人労働者の健康意識の醸成
- 地域の一員として



### 事業を通じた学び

- 文化や言語の違いによる伝え方の難しさへの理解
- 外国人労働者が抱える精神的ストレスへの理解の深化
- 外国人労働者の背景や生活状況を踏まえた健康支援の必要性
- 多文化共生には「理解」よりも、「理解しようとする姿勢」が重要

座学での学びを深め、新たな気づきを得ることができた